

表現指導の問題点 - アンケート結果から -

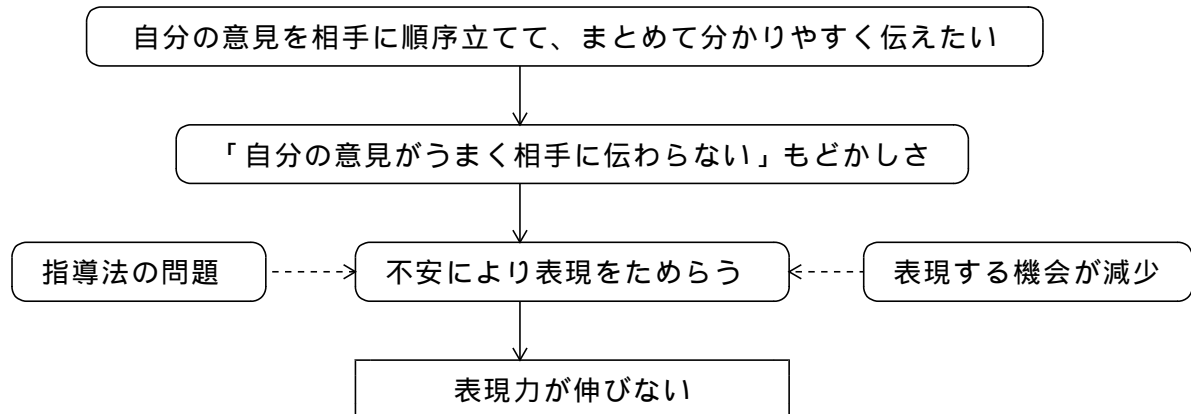
特別研究員 黒川 孝広

1. アンケートの目的

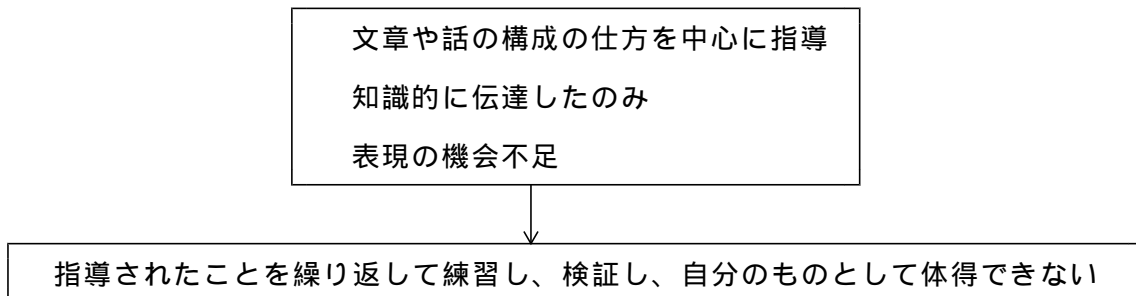
国語科教育での表現指導が効果的であったか
子どもたちの表現に対する意識はどのようなものであるか

2. 効果的でなかった表現指導

【子どもたちが身に付けたいと思っている表現力】



【表現指導の実際】



3.子どもたちの意識の実態

表現に対する自信不足

他者とかかわりたくないという孤立した意識

- 個性化、自由化 勝手、孤立化 他者を理解せず

日本文化が「協調性」を重視する社会

- 対立を怖れて、表現を控える。

4.子どもたちの現状をふまえた表現指導の改善を

表現指導の改善のポイントを次の4点にまとめる。

1. 表現したいことを順序立てて、まとまった構成ができるような指導を確立すること。
2. 表現指導を知識伝達のみならず、実際に練習し表現する機会を多く与えること。
3. 「読む・書く・聞く・話す」という言語活動を独立した活動とせず、読解学習時にも有機的な表現活動ができるようにすること。

集計結果

アンケート数	中2	中3	高1	高2	高3	計	東京、埼玉の計6校 1997年秋実施
	71	77	159	174	41	522	

問4) [問3)]でそう答えた理由は何ですか。

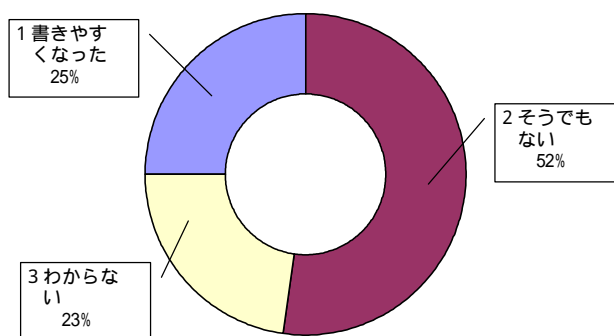
[1書きやすくなった]の主な回答

- ・構成の仕方がわかって、順序立てて書けるようになった。
- ・他人にわかりやすい文章の形というものがあったから。

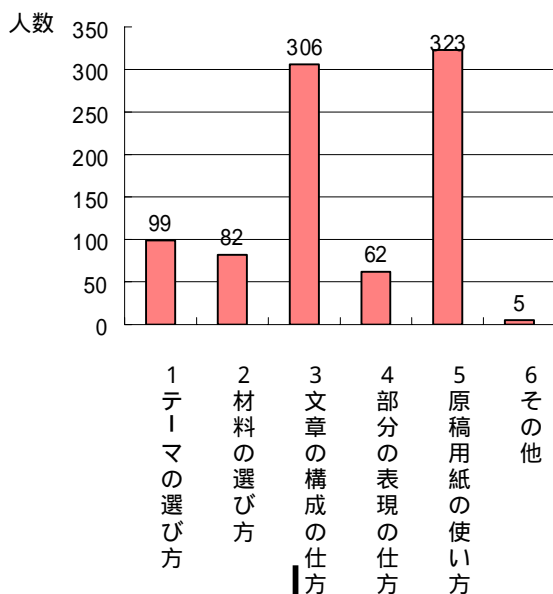
[2そうでもない]の主な回答

- ・まとめられない。
- ・自分のいいたいことが伝わりにくい。
- ・実際は、なかなかその通りに書けない。
- ・内容をどう書けばいいかわからないから。
- ・1時間しか教えてもらってないのと、文章を書く機会がないから。

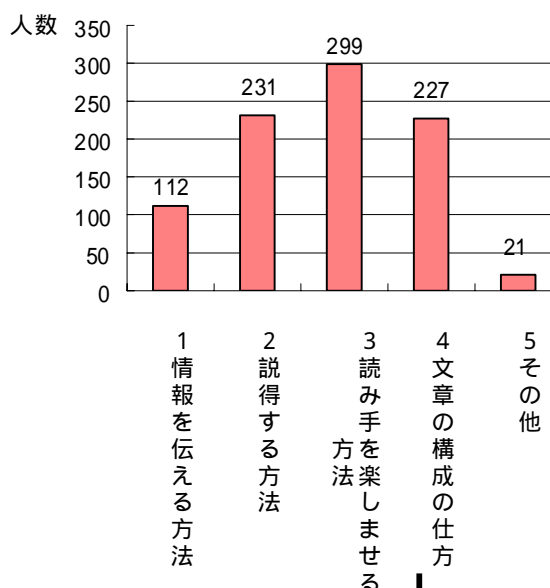
問3)書き方を教えてもらってから文章は書きやすくなりましたか。



問2)書き方で教えてもらったこと



問5)書き方で教えてもらいたいこと



「文章構成の仕方」を教えてもらっても「文章構成の仕方」を教えてもらいたい

問9) [問8)]でそう答えた理由は
何ですか。

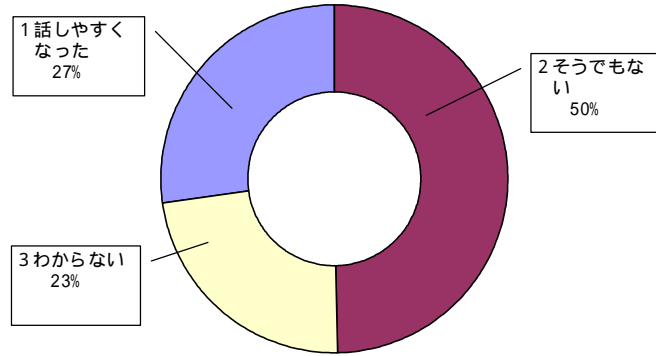
問8)話し方を教えてもらってから、話がしやすくなりましたか。

[1話しやすくなった]の主な回答

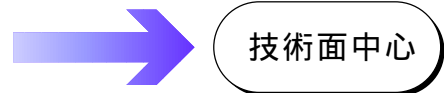
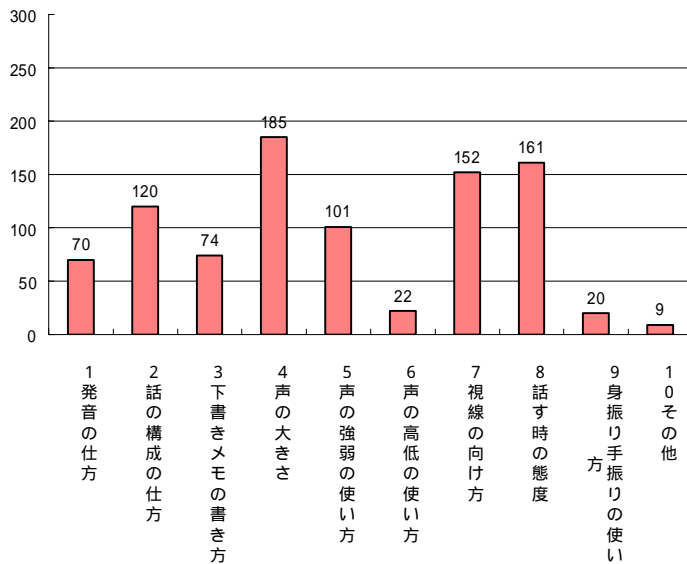
- ・あまり緊張しなくなった。
- ・聞き手にかわる話し方がわかった。

[2そうでもない]の主な回答

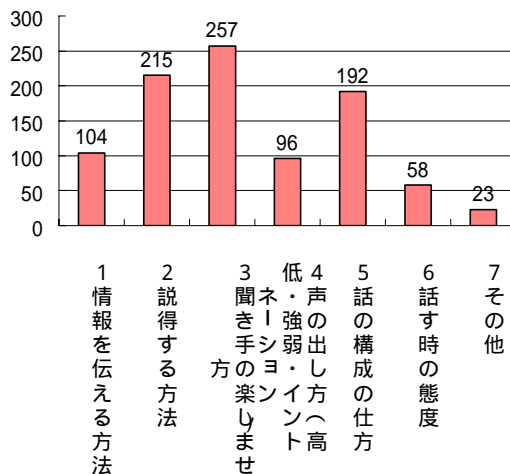
- ・あがってしまう。
- ・緊張してしまう。
- ・実際には教えられたとおりにできなかった。



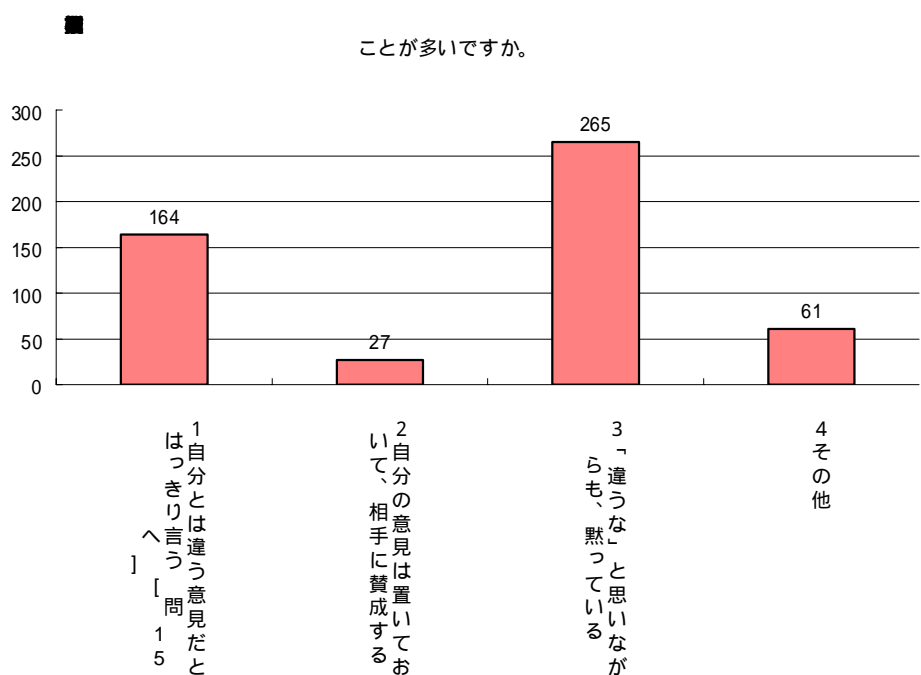
問7)話し方で教えてもらったことはどんなことですか。(複数回答)



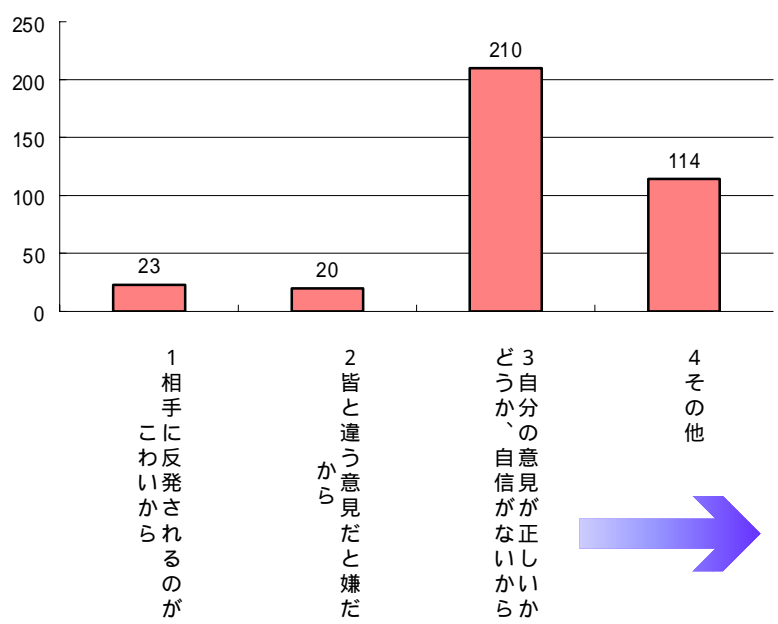
問10)話し方について、特に教えてもらいたいことは何ですか。(2つ回答)



問13) 学校の授業などで相手が自分と異なる意見を言った場合、あなたはどのようなことが多いですか。



問14) 自分の意見をはっきり言わないのはどうしてですか。(問13の2, 3, 4回答者のみ) 計

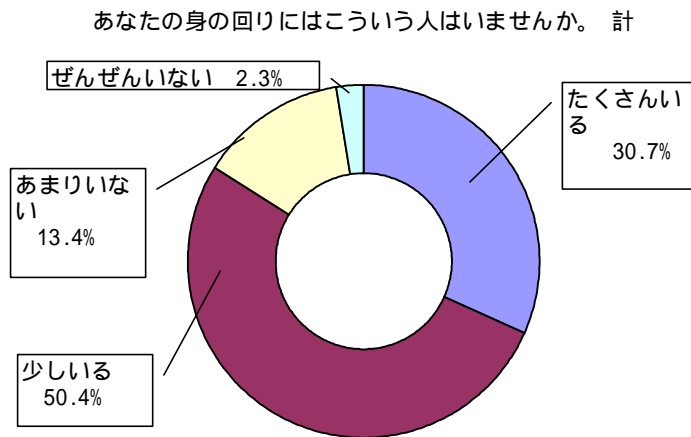


自信不足

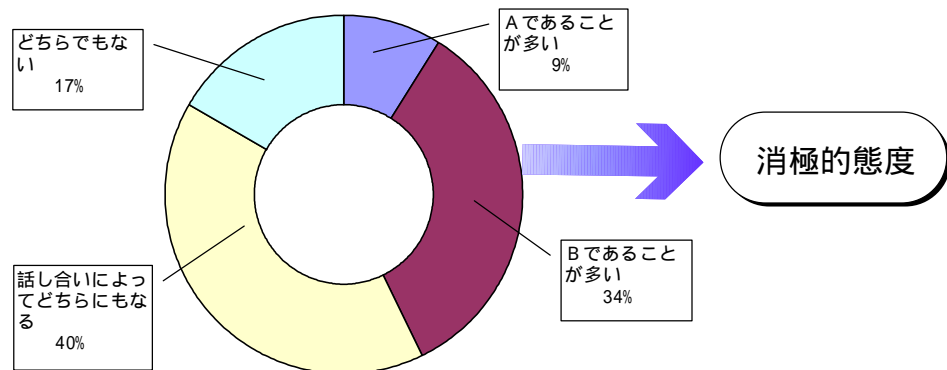
問16) 何かを話し合おうとすると、多くの人は次の二つの場合に分かれてしまって、なかなか話し合いにならない、という人がいます。その場合とは、

A「自分はこう思う」と自分の意見を言うだけで、相手の意見をよく理解しようとししない

B他人との衝突を避けるためか、ろくに自分の意見を言わず(又は持たず)、「それでいいんじゃないですか」という態度をとる



問18) あなたはどちらかという、A・Bどちらであることが多いですか。 計



「Aであることが多い」を選択した主な回答

- ・自分が一度こうだと決めたら、まっすぐ通してしまうところがある。

「Bであることが多い」を選択した主な回答

- ・衝突したくないから。
- ・意見を持つことが苦手だから。
- ・衝突を避けるためというより、自分の意見が正しいか分からないので黙っている。

「話し合いによってどちらにもなる」を選択した主な回答

- ・自分の意見がはっきりしていれば言うけど、そうでなければBのようになってしまう。
- ・その場のふんいきに合わせてどちらにもなる。